

第4回

ミッション × 継続教育

学院全体で生徒たちをサポート!

「ミッション」の名で親しまれている北陸学院中学・高等学校では、1885年の創立以来キリスト教の教えに基づいた人格教育が受け継がれてきました。生徒と教職員が真摯に向き合う中で、一人ひとりの潜在能力が自覚され、表現されていくうち、進路を含めたキャリア形成を図るという独自の進路指導を实践。その丁寧な指導方法は高く評価され、少子化の下にあって年々入学希望者を増やし続けています。本号では、高等学校と同じ校舎内にある北陸学院中学校の岡崎裕一教頭に、中学校の取り組みや継続教育についてお聞きします。

個の力を伸ばす、丁寧な教育

自学・自習の定着



登校から始業までの時間を利用し、漢字や英単語、計算などの基礎プリントに取り組み朝学習や、毎日の提出を必須とした自主学习用テキストを実施。生徒たちが隙間時間に効率よく勉強できるようサポートしています。

ICTで分かりやすく



全教室に設置し、9割の授業で使用している電子黒板。デジタル教科書や映像などの視聴覚教材により興味・関心を引くことで、生徒の視線が自然と上向きになります。音読などのさまざまな場面で有効活用しています。

短期海外研修に挑戦



希望者向けに中学1年生から高校2年生までが対象の、カナダでの短期海外研修制度を用意しています。高校生の先輩たちと一緒にホームステイを経験しながら、自国の文化との違いに気づき、国際理解を深めます。

未来を見据えた学び



教育方針「勉強プラスもうひとつ」を通して、生徒たちはさまざまな経験をします。その経験を北陸学院高等学校に進学してさらに深め、大学、その先の進路へとつなげるために、教員は生徒たちに寄り添った指導をします。

学習の流れ

中学1年

学習習慣を身につける
1学年30名前後の少人数教育により、教員は生徒一人ひとりの理解度を見ながらきめ細やかな指導を行います。基礎学力の習得を重視し、「予習・授業・復習」の3ステップを習慣づけて取り組めるようにサポートします。

中学2年

学びに向かう力を養う
基礎学力の徹底とともに、「学ぶ楽しさ」「学ぶ意味」を授業や行事などを通じて伝えていきます。生徒たちは学ぶ意義と自分自身の進路とをつなげて考えることで、より一層勉強への意欲が湧き、学力を高めます。

中学3年

希望の進路に向かって
3年間の基礎学力の総仕上げと、高校・大学進学に向けた応用力を身につけます。教員は生徒たちの気持ちに寄り添い、進路実現のために必要な学びができるよう生徒とのコミュニケーションを密にとっています。

北陸学院高等学校 2つのコース

特別進学コース
難関国公立大学への進学を目指して

総合進学コース
主に推薦を利用した多彩な進路に対応

その他の進路

主な進路イメージ

国公立大学
同志社大学
関西学院大学
明治学院大学

約650名分の
指定校推薦枠

北陸学院大学への
特別推薦枠

私立大学、短期大学、
専門学校、海外留学

※ただし、中学校での出席状況や学校生活の様子などにより推薦できない場合があります。

多様な学びを積み重ねて 生き抜く力を育む 総合学園。

北陸学院中学・高等学校
中学校 教頭
おかざき ゆういち
岡崎 裕一
Yuichi Okazaki

1985年生まれ、富山県出身。金沢大学教育学部情報教育専攻を卒業、2008年から北陸学院高等学校で担任や理科主任などを務める。2016年に中学校に異動、教頭として中学校と高等学校の継続教育の指揮を執る。現在は、中学校1年生の理科から高校3年生の物理まで幅広く授業を受け持ちながら、海外研修や国際理解教育を担当する国際教育委員長や、学院全体の経営企画委員などを務める。

中高の教員がしっかりと連携 大切な6年間を全力で支援

北陸学院は幼稚園から大学までを持つ総合学園です。中学校と高校は同じ校舎内において両校で教える教員も多く、私も中学校で理科、高校で物理を教えています。職員室も共通で、どの教員も中高の状況をよく知り、情報を共有して生徒を見守っていることが、北陸学院の継続教育の大きな特徴だと思います。

中高が一緒に理解を深められる上、人事交流も盛んなことから、中学校の教員は高校での経験に基づき、将来高校でアドバンテージになるような学習指導を中学校の段階で丁寧に行うことができます。一方、高校の教員は中学校での経験や生徒の中学時代の情報を、進路や生活の指導に生かすことができます。風通しの良い連携関係が、指導の効果をより高めているのです。

さらに近年は、小中間や高大間の連携が強まってきました。学院内推薦制度や奨学金制度が充実し、学生・生徒や教員の交流も進みつつあります。本校でも大学の教員を総合学習のゲスト講師に招いたりしていますし、中高の教員が合同で行う事例検討会や研修会などに、大学の専門家に加わってもらうこともあります。

先日も今話題の「SDGs」の教員研修を行いました。SDGsの目指すべき目標は、北陸学院が創立以来追求してきたものに重なり、再認識しました。今春は、北陸学院小学校でSDGsに取り組んできた生徒が本校

に入学しており、頑張る生徒たちに長期にわたって携わることができるのも、総合学園ならではの強みと考えています。

多様な価値観に触れさせて 視野を広げ、自主性を育む

国際理解教育に尽力しているのも本校の特徴です。観光客と英語で交流する「Let's Speak English Show」や、世界の状況を専門家から学ぶ「イッテム」などの独自の授業を実施。また、貧しい地域の子どもを里子支援する「チャイルド・ファンド・ジャパン」のプログラムへの参加などを通じて国際的視野を持つ人間の育成に努めています。こうした取り組みが実を結んできているのでしょうか。中学校の生徒会

は本年度、ミッション祭(文化祭のテーマに「学校に行けない世界の子どもたち」を選びました。昨年が「食糧問題」でしたから、世界の社会的課題を連続して扱うことになりました。これらの決定はすべて生徒自身が気づき、調べていく中で行われ、教員はあくまでもサポート役です。スクールモットー「Realize Your Mission」の下、常に生徒に「自分の使命を見つけよう」、「自分の賜物(個性や能力や可能性)を他者のためにどう使うか考えよう」と呼びかける教育を通して、自ら考え、行動する力が養われていると感じています。

予測不能な時代を迎え、社会は自ら課題を見つけ、解決できる人を強く求めています。それに伴って大学入試制度も来年度から大きく変わり、表現力や思考力などが重視されます。従来の知識偏重型教育では対応が難しく、多様な経験を通じて人格を養う教育が必要とされ、教員もまた一方的な指導ではなく、ファシリテーターの役割を担える指導者とならねばなりません。

長年培った独自の指導法で 社会が求める人を育てる

そのような時代が求める教育を、図らずも先取りしてきたのが北陸学院だと思います。高校が推薦入試の指導で積み上げてきたノウハウが新入試制度に適應しているばかりか、「勉強プラスもうひとつ」の教育方針の下、多様な価値観に触れつつ自分の物語を紡いでいく経験は、生徒の主体性を創造性を伸ばしてくれるからです。

また、新入試への成績提供が決定した英語技能検定GTECなども、すでに数年前から全中学生に受験させています。6年という長いスパンで生徒一人ひとりを支えていく本校の継続教育は、次代を担う力を確実に育てています。中学校は、1学年1学級のみで少人数教育で、隅々まで目が届く安心感も本校ならではの教員も熱心に日々研鑽していますので、保護者の皆様には、ぜひ私たちを信じてお子様をお任せいただければと思います。生徒自身に考えさせ、解決させる教育を通じて、お子様の成長を全力で後押しいたします。

学校・入試説明会のご案内

参加お申し込みは、本校配布のチラシ申込書をFAX、またはホームページよりお願いします。



北陸学院中学校 Hokuriku Gakuin Junior high school

- ▶ 学校説明会
9月21日(土)午前 申込締切 9/13(金)
- ▶ 入試問題解説会
10月19日(土)午後 申込締切 10/11(金)
- 対象 / 小学校6年生の児童とその保護者



北陸学院高等学校 Hokuriku Gakuin high school

- ▶ 学校・入試説明会
11月16日(土) 申込締切 11/8(金)
- 11月23日(土・祝) 申込締切 11/15(金)
- 12月7日(土) 申込締切 11/29(金)
- 対象 / 中学2・3年生とその保護者



北陸学院大学を備えた総合学園

北陸学院は幼稚園から大学までを備えた総合学園です。4年制の人間総合学部と2年制の短期大学部を併設した北陸学院大学への進学体制が整っており、学校長による特別推薦枠があります。

北陸学院大学	人間総合学部 [4年制]	子ども教育学科 社会学科
	短期大学部 [2年制]	食物栄養学科 コミュニティ文化学科



すべてに
120%の力を注ぐ

[北陸学院高等学校1年生]
こしはら つばき
越原 椿さん

生徒インタビュー

私は、一人ひとりの個性を大切にしてくれるあたかい北陸学院が大好きで、小学校・中学校・高校とこの学校に通っています。中学時代、2年連続で英語弁論の全国大会に出場できたことで英語を話す楽しさに気づきました。この経験から、実際に海外の方と英語で話したいと思うようになり、今は留学を考えています。高校では、英語スピーチの上達はもちろん、全教科を効率よく勉強しながら、3歳から続けているバレエとの両立を頑張りたいです。

確かな結果へとつなげる 大学への「進学力」

本校では、生徒の志望を尊重し、難関大学への進学から就職までの幅広い進路の実現を目指します。中学生の時期は、さまざまな経験を通して将来どんな自分になりたいのかを考えさせ、高校生になった時に進路を具体化できるよう指導しています。高校と併設していることにより、高校の進路指導担当教員にも相談することが可能です。

パブリシティ企画

Hokuriku Gakuin
Junior & Senior High School

北陸学院
中学・高等学校

中高を北陸学院で過ごした生徒の主な合格実績 (2015年度～2018年度卒業生)

関西地区 同志社大学 関西学院大学 神戸学院大学 同志社女子大学 大阪青山大学 京都造形芸術大学 京都橘大学 立命館大学	北陸地区 北陸学院大学 金沢大学 金沢美術工芸大学 富山大学 石川県立大学 石川県立看護大学 公立小松大学 金沢工業大学 日本航空大学校 金沢医療センター附属金沢看護学校	関東地区 明治学院大学 青山学院大学 関東学院大学 国際基督教大学 学習院大学 東京女子大学 昭和音楽大学 女子美術大学 帝京大学 東京女子医科大学 東洋大学 獨教大学 日本社会事業大学 法政大学 明海大学 立教大学 横浜薬科大学
留学 Santa Monica College (アメリカ)	東北地区 奥羽大学	東海地区 名古屋大学 金城学院大学 愛知みずほ大学 東海大学 名古屋外国語大学

同志社大学 関西学院大学 明治学院大学

特別推薦枠で
憧れの難関私立大学へ!



本校は同志社大学に14名、関西学院大学に21名、明治学院大学に6名の特別推薦枠を有しています。実際、2019年度入試結果においても、同志社大学に10名、関西学院大学に9名、明治学院大学に5名の合格者を輩出。県内でこれらの大学に最も近い学校といえます。他にも全国におよそ130大学・約650名の指定校推薦枠を有しています。

※募集枠は毎年変更があります。詳しい指定校一覧はHPよりご確認ください。

ミッションならではの、「学ぶ環境」!



グロリア・チャペル
毎朝の礼拝を行うチャペルです。創立100周年を記念して導入したパイプオルガンの音色に心を落ち着かせ、自分と向き合えます。



電子黒板
すべての教室に設置。動画や音声、画像を使いながら授業を行うため、生徒の興味・関心を引くことができます。

学習スペース
生徒たちが、教員に質問しやすい環境を職員室前に整備。休み時間や放課後に活用しています。